



## ◆ 笠間市のGIGAスクール構想について・・・

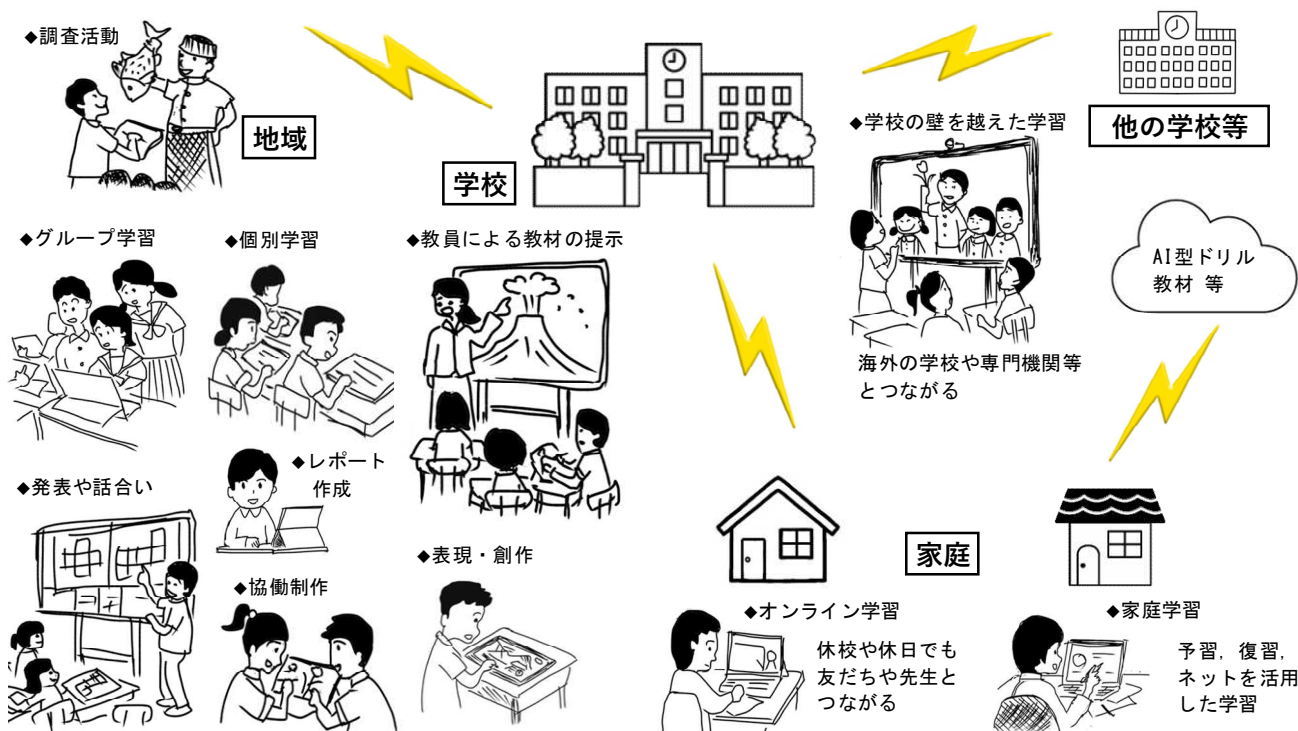
文部科学省が進めるGIGAスクール構想に向けて、笠間市では、市内小中学校、義務教育学校において、1人1台端末と高速大容量の通信ネットワーク環境などを整備し、「いつでも」「どこでも」「だれとでも」学ぶことができるような環境と、子供たち一人一人に適した学びの環境を実現できるよう、取り組んでいきます。

## ◆ 笠間市のICT教育について・・・

ICTとは、Information and Communication Technology の頭文字をつなげたもので、情報通信技術を意味します。ICT教育とは、パソコンや電子黒板、インターネット、学習用ソフトなど、多岐にわたる情報通信技術を活用した教育のことを言います。

GIGAスクール構想が実現すると、図のようなICT教育を展開することができます。

笠間市では、ICTを「I Create Tomorrow (未来を創る)」にとらえ、子供たちが未来の創り手となって、未来を力強く生き抜いていけるよう、ICT教育の充実に努めていきます。



(図) 1人1台端末と高速大容量の通信ネットワーク環境を生かしたICT教育

### 【コラム】日本の教育におけるICT活用状況は最下位

2018年に79か国・地域(OECD加盟37か国、非加盟42か国・地域)の15歳の生徒を対象に調査が実施されたPISA2018によると、OECD加盟国の中で、日本は「授業でICTを活用しない国ナンバーワン」「パソコンを使って宿題をしない国ナンバーワン」という不名誉な結果となり、教育におけるICT活用状況は、最下位であることが判明しました。逆に、「ゲームで遊ぶ」は1位になり、「ICTを遊びで使う国ナンバーワン」ということも明らかになりました。